

おうちで百人一首

ひやくにんいつしゆ

中・高学年向け

〽 百日後にマスターするわたし

ひやくにちご

六日目

〽

今日の一首

良暹法師
りやうぜんほうし

上の句
かみく

寂しさに
さび

宿を立ち出でて

やど た い

ながむれば

下の句
しもく

いづこも同じ
おな

秋の夕暮れ

あき ゆうぐ

歌の意味

秋の夕方、一人で家にいると寂しく
なってきたので外に出て眺めてみた
ら、その寂しさが、もっと広がって
しまいくらいどこを見ても一面に夕
暮れの景色が広がっていました。

まとめしき！

良暹法師は、大歌人であ
る 源 俊頼朝臣が敬意
を表すほど、和歌の世界
では一目置かれていた人
物だったそうです。

3回、声に出して
読んでみよう！



七日目の歌は・・・

鵲の 渡せる橋に 置く霜の 白きを見れば 夜ぞ更けにける

かささぎ

わた はし

お しも

しろ

み

よ ふ

